

シラバス参照

科目名	薬学総合演習A
配当年次	2年次
開講期間	秋学期
単位数	1
担当教員	武内 智春(タケウチ トモハル) 野村 陽恵(ノムラ ハルエ) 間 祐太郎(ハサマ ユウタロウ) 松崎 広和(マツザキ ヒロカズ) 村田 勇(ムラタ イサム) 畑中 朋美(ハタナカ トモミ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 火曜日 1時限 18－101 秋学期 火曜日 1時限 18－102 秋学期 火曜日 1時限 18－103

※	
授業の目的・目標	(1)授業の概要 薬剤師に求められる知識を身に着けるための学習法を学ぶとともに、多職種連携教育(IPE)により薬剤師になるための医療人マインドを研磨して学習意欲を高めます。 (2)授業の目的 モバイル学習とグループ学習を通じて、薬剤師に必要とされる問題解決能力とコミュニケーション能力を養うことを目的とします。 (3)修得できる力 知識を収集し、グループ内で議論し、論理的に統合することにより、問題を解決する能力が身に付きます。(知識・技能・態度) (4)授業の到達目標 薬剤師に求められる問題解決能力とコミュニケーション能力を身に着けるため、薬剤師国家試験に立ち向かう学習法を習得するとともに、協働して問題解決に当たる意義を理解することを到達目標とします。
準備学習等の指示	事前に提示された課題を解決するために必要な情報を、教科書や参考書、Web等から収集し、授業に参加すること。モバイル学習により自学自習すること。
講義スケジュール	1. IPE演習: 講義により多職種連携について学んだのち、提示された映像課題の解決に向けてグループで話し、その成果を発表する(畑中、村田) [A-(1)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5、A-(4)-1)、-2)、-3)、-4)、-5] 2-5. 物理: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、グループで問題解説を作成して発表するとともに、個別にモバイル学習し、知識の定着度を小テストで確認する(武内、野村、松崎、間) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5] 6-9. 化学: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、グループで問題解説を作成して発表するとともに、個別にモバイル学習し、知識の定着度を小テストで確認する(武内、野村、松崎、間) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5] 10-13. 生物: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、グループで問題解説を作成して発表するとともに、個別にモバイル学習し、知識の定着度を小テストで確認する(武内、野村、松崎、間) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5]
教科書	第105-108回薬剤師国家試験問題 完全攻略ナビ(ファーマプロダクト)
参考文献	関連科目の教科書、参考書、Web情報等
授業の方法	薬剤師国家試験問題や医学・薬学に関する映像・講義を題材に、グループ内で課題解決について議論し、その成果を発表する。また、モバイル学習を通じて個々に自学自習し、知識の定着度を小テストにより確認する。
成績評価方法	試験80%、グループ学習(ルーブリック)評価10%、小テスト10%とし、学習目標の達成度に換算して評価する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー参照
居室	各教員の居室
ホームページ	
その他特記事項	学習内容はSBOsに準拠するが、学習方法は本学独自の取り組みである。
添付ファイル	

シラバス参照

科目名	薬学総合演習A
配当年次	2年次
開講期間	秋学期
単位数	1
担当教員	武内 智春(タケウチ トモハル) 野村 陽恵(ノムラ ハルエ) 間 祐太郎(ハサマ ユウタロウ) 松崎 広和(マツザキ ヒロカズ) 村田 勇(ムラタ イサム) 畑中 朋美(ハタナカ トモミ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 火曜日 2時限 18－101 秋学期 火曜日 2時限 18－102 秋学期 火曜日 2時限 18－103

※	
授業の目的・目標	(1)授業の概要 薬剤師に求められる知識を身に着けるための学習法を学ぶとともに、多職種連携教育(IPE)により薬剤師になるための医療人マインドを研磨して学習意欲を高めます。 (2)授業の目的 モバイル学習とグループ学習を通じて、薬剤師に必要とされる問題解決能力とコミュニケーション能力を養うことを目的とします。 (3)修得できる力 知識を収集し、グループ内で議論し、論理的に統合することにより、問題を解決する能力が身に付きます。(知識・技能・態度) (4)授業の到達目標 薬剤師に求められる問題解決能力とコミュニケーション能力を身に着けるため、薬剤師国家試験に立ち向かう学習法を習得するとともに、協働して問題解決に当たる意義を理解することを到達目標とします。
準備学習等の指示	事前に提示された課題を解決するために必要な情報を、教科書や参考書、Web等から収集し、授業に参加すること。モバイル学習により自学自習すること。
講義スケジュール	1. IPE演習: 講義により多職種連携について学んだのち、提示された映像課題の解決に向けてグループで話し、その成果を発表する(畑中、村田) [A-(1)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5、A-(4)-1)、-2)、-3)、-4)、-5] 2-5. 物理: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、グループで問題解説を作成して発表するとともに、個別にモバイル学習し、知識の定着度を小テストで確認する(武内、野村、松崎、間) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5] 6-9. 化学: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、グループで問題解説を作成して発表するとともに、個別にモバイル学習し、知識の定着度を小テストで確認する(武内、野村、松崎、間) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5] 10-13. 生物: 薬剤師国家試験既出問題を教材に、グループで問題解説を作成して発表するとともに、個別にモバイル学習し、知識の定着度を小テストで確認する(武内、野村、松崎、間) [A-(5)-①-1)、-2)、-3)、-4)、-5]
教科書	第105-108回薬剤師国家試験問題 完全攻略ナビ(ファーマプロダクト)
参考文献	関連科目の教科書、参考書、Web情報等
授業の方法	薬剤師国家試験問題や医学・薬学に関する映像・講義を題材に、グループ内で課題解決について議論し、その成果を発表する。また、モバイル学習を通じて個々に自学自習し、知識の定着度を小テストにより確認する。
成績評価方法	試験80%、グループ学習(ルーブリック)評価10%、小テスト10%とし、学習目標の達成度に換算して評価する。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー参照
居室	各教員の居室
ホームページ	
その他特記事項	学習内容はSBOsに準拠するが、学習方法は本学独自の取り組みである。
添付ファイル	